

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	法定の訓練に加えて自主訓練を行い、記録を残して課題を見つけ、消防署の指導を受ける際に活かしてみてはどうか。	月に一度自主訓練を行う。	色々な災害についてそれぞれのシナリオを作成し具体的な状況に基づき行う。	12ヶ月
2	45 (17)	前日に入浴した利用者であっても、声かけをして利用者の選択により、希望が出れば支援してほしい。	声掛けを必ず行っていく。	入浴時間の確保の為、業務の効率化に取り組む。	6ヶ月
3	49 (18)	季節を感じる楽しみや気分転換のためにも、コロナ禍前に戻せる取り組みをお願いしたい。	外気に触れる機会を増やす。	散歩を日常とする。個々の希望に合わせた、ドライブ、外食を行う。	6ヶ月
4	52 (19)	壁の掲示物は、季節に応じた作品を掲示してはどうか。 また、居室の入り口の掲示は本人の希望に沿ってお願いしたい。	常に新しい物を取り入れて行く。	貼りっぱなしにしない。その時の利用者の思いを伺い一緒に考えた掲示物にする。季節感を取り入れ四季を感じてもらう。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。